

家庭学習の手引

平成26年度版



By Yuino Nishida, Suzuno Nakamura



和歌山市立城東中学校



● 家での勉強はどのようにしてきましたか？

● 授業で学習した内容を定着させるためには、家庭学習が大切です。

● 各教科担任の先生から家庭学習の方法について説明をします。参考にしましょう。☆彡



国語

【予習】 ・教科書の音読をしましょう。
・スラスラ読むようになると、内容を正確に理解できるようになります。

【復習】 ・授業内容をまとめたプリントやノートを見直しましょう。
・提出しなければならぬプリントを丁寧に取り組みましょう。

【自主学習の例】 定期テストに備えて漢字を覚えましょう。
学習している作家の他の作品を読みましょう。

【補充学習の受け方】 文法等知識理解の定着をおこなう機会に活用しましょう。

社会

【予習】 いろいろなニュースを読みましょう。（新聞等）
ニュースで気になったことは家族と話し合ひましょう。

【復習】 ・何か起こった→結果どうなった。などの流れを理解しましょう。
・語句の意味を理解しましょう。

【自主学習の例】 1つの語句から関連する出来事や関係している人物等連想しましょう。

【補充学習の受け方】 授業の復習をしましょう。

数学

【予習】 ・学習する教科書の範囲に目を通し、内容を確認しておきましょう。
・「ここ難しそうだな。」と思うところがあれば一度自分なりに勉強しましょう。目安として2・3ページ予習し、例題を中心に勉強しましょう。

【復習】 ・今日、授業で学習した教科書のページの例題をもう一度しましょう。
・教科書の【問】や【練習問題】【章末問題】を練習しましょう。
・宿題ができた場合は、できたその日にするようにしましょう。

【自主学習の例】 ・問題集で基本的な問題を繰り返し練習しましょう。
・応用問題にも挑戦しましょう。

【補充学習の受け方】 ・授業で理解しにくかった内容を再度確認しましょう。
・自主学習で理解できなかった問題について質問しましょう。

理科

【予習】 ・次の授業で学習する教科書の範囲をよく読み、実験などがある場合は、実験の目的をきちんと把握しておきましょう。

【復習】 ・授業中とったノートやワークシート、プリントなどを見直し、要点を整理しましょう。
・宿題は自分の力で取り組み、分からなかった問題はそのままにせずに質問をしましょう。

【自主学習の例】 ・テスト範囲のノートやワークシート、プリントを熟読しましょう。
・授業で配付された白プリなどをもう一度解きましょう。

【補充学習の受け方】 ・あらかじめ質問する内容を決めておき、目的を明確にして補充学習にのぞみましょう。

英語

【予習】 ・新出単語の意味を調べて、ノートに書きましょう。
・教科書の本文を写しましょう。
(できるところまで日本語訳をしておいてもよいです。)

【復習】 ・授業で聞いたこと、ノートに書いたことを思い出しながら、日本語訳をノートに完成させましょう。
・学習した基本文や文法事項を何度も読んで覚えましょう。基本文の日本語訳から正しい英文が書けるようになるまで練習しましょう。
・宿題を最後まできちんとやりましょう。
・教科書を発音やイントネーションに気を付けて何度も読みましょう。

【自主学習の例】 ・まとまった量の英文を読みましょう。学年に応じた内容の長文問題を読んで、限られた時間内に必要な情報を読み取る練習をしましょう。(特に3年生)
・ラジオ講座やテレビ講座等を利用して、聞く力を高める練習をしましょう。
・英語の歌や映画など身の回りにある英語に親しみ、気に入った歌詞やセリフ覚えてみましょう。

【補充学習の受け方】 ・質問するべきことを考えてから補充学習に参加しましょう。「何がわからないのか」がわかるのは自分しかいません。わからないことを効率よく教えてもらう機会にしましょう。

家庭学習

保護者のみなさんへ…

☆家庭では、「勉強するってたのしい」という気持ちを育てることが大切です。

家庭での学習では、最初から進んで机に向かうことができないことで困っている場合がほとんどです。

「勉強しなさい」といわれて、いやいや机に向かわせたとしても、それは決して長続きするものではありません。

家庭で勉強することが「たのしい」「自分の力になる」という実感をもたせること、自分なりの勉強方法をみつけさせることが大切です。

そのためにまず、この「家庭学習の手引」で紹介する方法から行ってみてください。

また、学校でおこなっている補充学習に積極的に参加して家庭学習の習慣付けをおこなってください。



家庭学習の方法

極



意

1. 家での勉強開始時間を決める。

・いつ勉強をはじめると決めることでそれが習慣になります。はじめは面倒に思うことがありますが、勉強する机に座ることからはじめてみましょう。そのうちに習慣になります。

2. 学校の宿題からする。

・宿題をはじめにすることで、何を勉強したらよいのか迷うことがなくなります。宿題がないときや余裕のある時は、その日の授業の復習をしましょう。

3. 授業の復習をする。

・復習をすることで、まだ理解していないところなどを見つけることができます。次の日、学校で先生に質問をするか、補充学習で勉強し身につけましょう。

4. 得意な教科は伸ばし、苦手な教科は少しずつ。

・苦手な教科は、どうしても勉強したくないものです。まず、得意な教科を1教科つくりましょう。その教科を集中的に勉強することで自信がつきます。

苦手な教科は、全くしないのではなく、少しずつ基本的なことから勉強しましょう。きっと、できるようになります。



習慣化しよう!



1. 学力向上は、規則正しい生活習慣から。

・早寝・早起き・朝ごはんを実行しよう!

2. ケイタイ、スマホやゲームはほどほどに。

・ケイタイ、スマホやゲームに熱中すると、集中力が落ち、やる気がなくなってしまいます。

